

▶関西・関東地区災害支援連絡会議(2面)
▶キリスト教教育者物語(2・4・5面)
▶第6回中堅教員リトリート(3面)
▶第9回中堅事務職員リトリート(4面)
▶加盟校学生・生徒・児童・教職員数(5面)
▶各地区の夏期行事報告(6~8面)
▶キリスト教学校教育懇談会講演会(8面)
▶主張・公算(〃)

キリスト教学校教育 10

2018・2019年度教研テーマ
キリスト教学校につながる喜び—多様性の尊重と共生をめざして—

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長 西原 康太
編集人 田村 浩一
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)

2019年9月25日

今・この時に私たちが大切にしたいこと —多様性の尊重と共生をめざして—

一般社団法人キリスト教学校教育同盟
理事長 西原康太
常任理事会

今、私たちの社会は、さまざまな痛みと破れが顕在化してきています。とりわけ、現在の深刻な日韓関係の荒波を受けながら、ヘイトスピーチに代表される差別・排外主義、あるいは反知性主義が充満しています。一方では、「道徳」が教科化され、今秋には、天皇即位の諸行事が行われようとしています。また、世界の至る所で、ポピュリズム政治の横行に伴う自国利益優先主義と排他主義が、深刻な分断と対立を招いています。

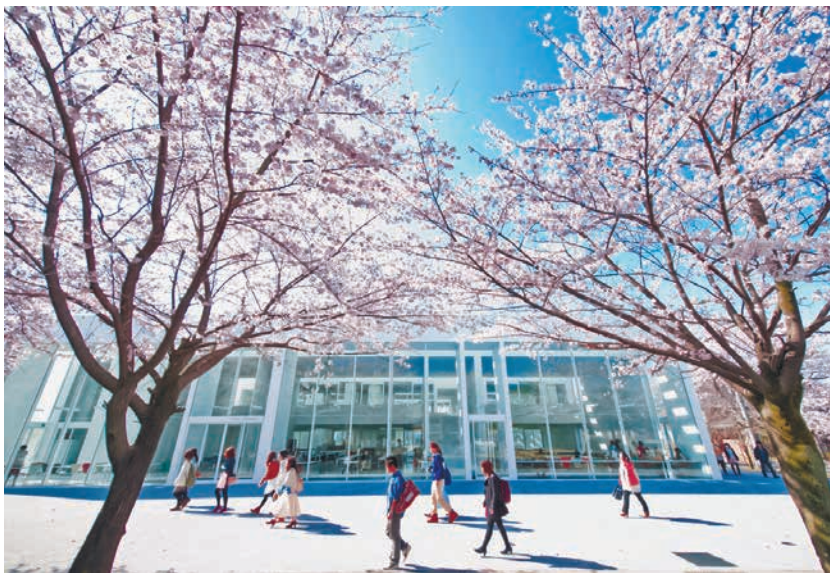
こうした状況であるからこそ、私たちキリスト教学校は、児童・生徒・学生たちに、歴史を誠実に学ぶこと、多様性を尊重し、共生社会を実現することの大切さを、ていねいに伝えなければならないと確信します。

私たちキリスト教学校教育同盟の起源は、1899年に発令された、すべての学校での宗教上の教育・儀式を禁止する「文部省訓令第12号」強制という事態に直面し、キリスト教教育の危機に立たされたキリスト教学校が、結束して偏狭なナショナリズムに抵抗したことにあります。1910年に同志社で開催された「基督教教育同盟会」第1回総会で採択された規約の〈目的〉には、「本会ノ目的ハ基督教主義学校ニ共通ナル諸問題ヲ研究シ其ノ進歩発達ヲ計リ必要ノ場合ニハ共同ノ行動ヲ執ルニアリ」という宣言が刻まれています。訓令第12号が発布された背景には、当時の国粋主義、国家主義的思想の台頭がありました。「教育勅語」に象徴される、国家神道を規範とする道徳を中心とした国民教育の強制という事態にあって、キリスト教諸学校は抵抗運動を挑み、「必要な場合には共同の行動を執ること」を目的として、教育同盟設立へと至りました。

私たちキリスト教学校の使命、ミッションとは、真理を探究し、他者への共感性を持ち、さまざまな痛みや重荷を背負わされた人々の叫びに耳を傾け、異文化世界の人々と深いところでつながり、この世界・社会に仕えることのできる児童・生徒・学生を、心を込めて育て、世に送り出すことにあります。

今・この時に、私たちキリスト教学校は、このミッションを、しっかりと担っていく責任があることを、あらためて確認したいと思います。

第61回学校代表者協議会 11月8日(金)・9日(土) (学)共愛学園で開催



主題 実効性ある取組みを目指して —学校運営の支援・連帯をめぐる具体的可能性—

第61回学校代表者協議会は、来る11月8日(金)17時から18時45分まで、9日(土)9時から16時30分まで、学校法人共愛学園・共愛学園前橋国際大学(写真上、群馬県前橋市小原町)において開催される。

今回の主題は「実効性ある取組みを目指して—学校運営の支援・連帯をめぐる具体的可能性—」で、第1日目(2日)は、1号館1階チャペルでの開会礼拝に続いて教育同盟および会場校の挨拶があり、その後、大森昭夫氏(共愛学園前橋国際大学学長)により、講演「共愛学園の挑戦—130年の歴史と先進性—」が行われる。

2日目(9日)も前回は、来る11月8日(金)17時から18時45分まで、次の課題報告がなされる。

1「中小規模学校法人の連携協力検討プロジェクト」湯口隆司(活水学院院長・長・活水女子大学学長)

2「学内教職員研修会講師派遣制度の展開」小暮修也(明治学院学院長)

3「キリスト教教育と新学習指導要領」敷島洋一(青山学院中等部長)

4「災害支援連絡会議の今後の展開」田中栄司(桃山学院中学校高等学校教諭)

5「教育者支援の今後の展開」長谷川洋一(大阪女子学院副理事長)

昼食・懇親会・共愛学園前橋国際大学キャンパスから取り出せる。

学校代表者協議会に先立ち、11月8日(金)に共愛学園前橋国際大学で第5回常任理事会および第4回理事会在開催される。

(会場校紹介)

共愛学園は、1888年に前橋英和女学校として創立され、そのときどきの教育的課題を担って、地域とともに歩み続け、本年131年目に入った。わずかな名の学生をもって誕生した本学園は、現在、こども園(小学、中学、高校)、大学のほか学童クラブを擁する学園へと成長し、ここに約3千名が学んでいる。

特に2016年に小学校が開校したことにより、地方ではあまり見られ

ス見学の後、理事長等A・B、院長・学園長等、学長等、校長等の4つのグループ討議を行う。

その後、休憩(移動)、全体会、閉会礼拝と続き、全体会では、西原康太氏(立教学院副院長、教育同盟理事長)の司会で、「グループ討議報告の課題」を行う。

この代表者会議がこれからの教育同盟のあり方を示すものとなることを期待し、加盟学校法人の教学・経営に責任を持つ方々の多くの参加を願っている。申込締切は10月30日(水)。用紙は教育同盟HP「教職員の方」↓「同盟事務局」↓「学校代表者協議会」から取り出せる。

今年も夏以降、これまでに経験のない大雨が日本列島を襲い、多くの被害を出した。被害を受け大変な生活を強いられている方々を覚えてお祈りしたいと思います。

また、気候変動は世界規模で起こっています。この荒れ狂う自然のうめきがこれまでにないほどに私たちに迫り来るのを感じます。

聖書で言われている「地」とは、神が人間に与えられた可能性の総体を示していると考えられます。人間にはこの大きな恵みの中で生きることが許されているのです。また、ない総合学園となつた。また、大学は運営体制のほか、文科省の補助事業に数多く採択されるなど、全国的にも注目されている。跡部洋一(学校法人共愛学園理事長)……

た「地を従わせる、支配する」とは、自然を好き勝手に搾取しても良いとせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物の一つ一つが本来の目的を果たし得るように世話をすることであり、神の定められた創造の秩序の中ですべての被造物と虚しいものになってしまふことを忘れてはいけません。

しかし、人間が罪に堕ちて以来、私たち人間のみならず、被造物全体が虚無に服し、うめきの中にあることをローマ書のみ言葉は伝えています。

現在、この被造物のうめきがよいよ切実になさされていることへ私たちはもっと耳を傾けるべきではないでしょうか。同時に私たちの希薄になってしまった他者(神、隣人、自然)との関係性をもう一度回復し、本来の祝福された世界を取り戻すための一歩を今踏み出すことが求められているのではないのでしょうか。

私たちの教育活動が神の祝福のもとに希望に溢れたものとなることを祈ります。

〈尚綱学院宗教主任〉

聖書のことば



田所義郎



「神は彼らを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ』」(創世記1章28節)

「被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています」(ローマの信徒への手紙8章22節)

今年も夏以降、これまでに経験のない大雨が日本列島を襲い、多くの被害を出した。被害を受け大変な生活を強いられている方々を覚えてお祈りしたいと思います。

また、気候変動は世界規模で起こっています。この荒れ狂う自然のうめきがこれまでにないほどに私たちに迫り来るのを感じます。

聖書で言われている「地」とは、神が人間に与えられた可能性の総体を示していると考えられます。人間にはこの大きな恵みの中で生きることが許されているのです。また、ない総合学園となつた。また、大学は運営体制のほか、文科省の補助事業に数多く採択されるなど、全国的にも注目されている。跡部洋一(学校法人共愛学園理事長)……

＜行事予定＞	
10/22	全国広報委員会(横浜共立学園)
24~25	第61回中高研究集会(西南学院中学校・高等学校)
11/8~9	第61回学校代表者協議会(共愛学園)
23	キリスト教学校教育懇談会第17回講演会(大阪女学院)
30	第5回キリスト教看護教育推進会議(梅花女子大学)
2020年	
1/17~18	第62回小学校代表者研修会(北陸学院小学校)
6/5~6	第108回定時総会(桜美林大学新宿キャンパス)

関西・関東地区 災害支援連絡会議開催される

関西地区第4回

18年西日本豪雨 広島女学院の報告

2019年6月15日 等学校 高校教頭）を講（土）に同志社中学校・高 師としてお招きし、昨夏等学校（京都市左京区）の「平成30年7月豪雨」を会場として、第4回関西地区災害支援連絡会議 過程について報告をして実施しました。参加者は15校18名でした。

広島女学院中高では校舎への被害はなかったものの、通勤通学の手段で協議の取り組みが始まっています。それを受けて関西地区では他地区に先駆けて2017年度から「災害支援連絡会議」を行っており、今回は第4回目の会議となりました。今回は、高見知伸先生（広島女学院中学校・高

ました。

また、登下校中の被災時へのあるべき対応方法や、豪雨災害から学んだことや課題についても具体的に紹介されました。対応に追われる現場に対して教育同盟加盟他校からの励ましがあったことや、被災生徒への経済的支援が加盟校から行われたことも報告されました。

会議の場では、災害等発生時の家庭と学校の連絡方法について意見が交わされました。また、各校の災害対応備蓄品や、実際に採用している緊急連絡の配信方法についての情報が交換されました。さて、関西地区では、第1回の会議から参加された方々に「関西地区メーリングリスト」への参加を呼び掛けており、今夏からGoogle

1eグループのシステムを用いたメーリングリストに変更しています（※変更通知メールが届いていない方は、桃山学院・浜野まで一報くたさいます。全国の会議でも同じ状況が今後も続くと思われませんが、取り組みを続ける中で相応しい知恵が与えられるようにと祈り続けております。

7月12日（金）には関東地区でも会議が行われました。引き続き、他地区でも同様の取り組みが行われ、「顔の見える関係」が構築されることを期待いたします。また、毎夏実施している全国災害支援連絡会議にも多くの方々にご参加いただきたいと願っております。

浜野 淳

今回の会議に参加された方々は、これまでと同様に校種と分掌は多様でした。災害支援連絡会議の「担当窓口」をどの方（同盟担当、災害担当、

関東地区第1回

連携・連帯を 強める第一歩

東日本大震災から8年。熊本地震から3年。その後毎年のように日した。また全国会議の本各地で甚大な自然災害が頻発する中、私たちが何ができるか、支援のあり方、防災のあり方を模索する日々が続いています。さて、キリスト教学校教育同盟では2016年8月に立教学院にて第1回全国災害支援連絡会議を開催して以降、宮城や熊本、横須賀、高知な

ど、毎年、全国規模での連絡会議を開催してきました。また全国会議の方針として、全国と並行し「東北・北海道」「関東」「関西」「西南」といった各地域ごとのネットワークの構築の必要性が提案されています。すでに、関西地区では先行して活動が始まっておりますが、関東地区でも2019年度より、関東地区同盟加盟校から世話役（地区委員）を募り、「関東

今野茂氏の講演



非常食の展示



地区災害支援連絡会議」を高めることを目的としが正式に発足いたしました。講師にはNPO法人日本防災環境の今野本と志春（青山学院院長）、安藤弘敏（青山学院見地から学校における防災安全対策課長、楠山眞里子（東洋英和女学院高等部部長、磯貝曉成（横浜英和小学校校長、山田昭夫（関東学院総務課長）、吉田太郎（立教女学院小学校教頭）の6名です。関東地区の主な活動目的は二つ。災害に備える情報交換と顔の見えるネットワークの構築です。上記の地区委員で準備会を重ね、7月12日（金）、関東地区加盟47校の学校法人の防災責任者や管理部門、管理職の教職員を対象とし、第1回「関東地区災害支援連絡会議」を開催することができました。

今回のテーマは「近年の災害に対する備え（地震・風水害）」とし、都れ、顔の見える関係づくり、連携・連帯を強める備えの第一歩となりました。吉田太郎

を高めることを目的としが正式に発足いたしました。講師にはNPO法人日本防災環境の今野本と志春（青山学院院長）、安藤弘敏（青山学院見地から学校における防災安全対策課長、楠山眞里子（東洋英和女学院高等部部長、磯貝曉成（横浜英和小学校校長、山田昭夫（関東学院総務課長）、吉田太郎（立教女学院小学校教頭）の6名です。関東地区の主な活動目的は二つ。災害に備える情報交換と顔の見えるネットワークの構築です。上記の地区委員で準備会を重ね、7月12日（金）、関東地区加盟47校の学校法人の防災責任者や管理部門、管理職の教職員を対象とし、第1回「関東地区災害支援連絡会議」を開催することができました。

加盟校動静

鵜川 馨氏（元立教女学院院長、元教育同盟広報担当常任理事・『百年史』編集委員長・顧問）7月20日逝去、88歳。葬儀は7月24日（水）東京都新宿区の目白聖公会で執り行われた。

東海林敏雄氏（前浦和ルーテル学院理事長）9月4日逝去、83歳。学院葬が10月25日（金）午前、さいたま市緑区大崎364-2の浦和ルーテル学院で執り行われる。

大住雄一氏（東京神学大学学長）9月5日逝去、64歳。葬儀（大学葬）は9月9日（月）正午から東京都三鷹市の東京神学大学礼拝堂で執り行われた。

3先生に謹んで哀悼の意を表します。

立教女学院小学校教

キリスト教教育者

物語

⑦②



志に生きた教育者

折尾愛真学園創立者 増田孝(1904~1999)

1904年（明治37年）福岡県遠賀郡に生まれる。大分高商（現大分大学）を経て、当時のマルクス経済学の泰斗・河上肇を慕って京都大学経済学部へ入学。在学中に不治の病と言われた肺結核に罹り、休学し郷里で療養。その間、魂の渇きを覚え、生きる意味を模索し、内村鑑三を通して聖書と出会い、生ける創造主なる神に出会う。

病癒え、復学し、京都大学の友人沢崎堅造の導きもあり、日本基督教会室町教会にて日高善一牧師、山谷省吾長老ほかの試問を受け「マルクスよりキリストへ」の回心を経験し、「讃美歌」529番（ああうれし、わが身も）の心境にて受洗。

1935年故郷に折尾高等簿記学校を創設。1936

年二・二六事件が起き、翌年日中戦争開始、その後太平洋戦争へと突入する戦乱の時代に「若者をキリスト教によって教育したい」との志により「一粒の種」を蒔き、「右手に聖書、左手に職業」という「キリスト教教育と職業教育」の建学の精神を堅持し、今日まで受け継がれている。職業労働に従事することは、精神的にも経済的にも「自主独立の精神」を養うことに通じ、日本人キリスト者による学園として、他の団体からの援助を受けずに創立され、「ミッションスクールならざるミッションスクール」としての歩みを続けた。

「召命」としての労働観により、労働を通して隣人愛の実践を行い、神の栄光のために働く職業教育を目指した。84年前に「蒔かれた一粒の種」が今日、保育園、幼稚園、中学校、高等学校（衛生看護専攻科）短期大学を擁する「折尾愛真学園」という木へと成長している。

増田 賜（折尾愛真学園副理事長）

福音を生きる

静岡英和女学院中学校・高等学校校長 大橋 邦一

り、キリスト教学校にあっては建学の精神の共通した源であり、それは人格の完成へ導くものであることを確認しました。そして「放蕩息子」のたとえに込められたイエスの思いに心を寄せ、黙想の時を持ちました。



この兄はまさにフアリののかは、息子たちの自



北星学園女子中学校・高等学校校長 浅里愼也

即目研修

由な意思に任ざれていま
す。私たちにも弟のよう
に父親から解放され、自
由でいたいと思う時と、
兄のように父親から認め
られたい、評価されたい
と思う時があります。で
も、この父親が案じてい
たのは弟が遠い国へ行っ
てしまったことでした。
父親は息子が悔い改める
よりも、息子の帰還、息
子の存在そのものを喜ん
でいます。

また父親は兄のことを
評価していない、認めて
いないわけではありませ

ん。怒る兄をなだめる父
親は「子よ、お前はいつ
もわたしと一緒にいる」
と言っているのです。こ
の父親は兄もまた弟と同
じように、兄が何をした
からではなく、兄の存在
そのものを喜んでいるの
です。

福音に生きる教師とい
うのは授業、試験、評価
という生徒を数値で測る
現実にあって、それが学
校の限界、教師の限界と
わきまえている人であ
り、神様によって生徒と
共に食卓に招かれている
存在ではないでしょう

礼拝等でこれまで何度か聞いたことがある個所ですが、大橋先生は参加者に非常に丁寧なたとえの内容を多面的な問いかけを含めながら展開され、その後に続く思いを巡らす「瞑想の時」に導かれるための必要な時間となりました。

大橋先生は言葉だけでなく、オランダ絵画黄金期最大の巨匠レンブラント・ファン・レイン最晩年の代表作である『放蕩息子』の帰還（未完）の精巧なレプリカを持参され参加者に紹介されました。天才レンブラントが

描こうとした「放蕩息 加者の多くが経験のない象を持ちました。子」を題材にした作品 事のように、最初は戸惑 また、高橋貞一

『放蕩皇子の帰還』を直
接示されながら、これま
で聖書を読むだけでの視
点では受け取ることが難
しいと思われる内容を紹
介されました。

それぞれの発題後に持
たれた「黙想の時」は参
照な時間を経験できた印

う表情も見受けられまし
たが、グループ討議等を
通して個人的にも親しく
なる中で、職場とは違っ
た緊張や拘束されること
もない時を過ごすという、
神さまから与えられた贅

象を持ちました。

また、高橋貞二郎先生（東洋英和女学院宗教部長）による4回の朝・夕礼拝では、学校生活の出来事からキリスト教学校が与えられている神の恵みと祝福を受け取りました。そして開会礼拝は平松讓二委員（同志社）

最後に中堅教員リトリート（節目研修）を温かく支え歓迎してください。

同志社びわこリトリートセンターの皆さんに心からの感謝を送ります。

〈中堅教員リトリート実行委員〉

頭)、閉会礼拝は中根広秋委員(西南学院中学校・高等学校校長)が担当されました。

今年は初めての企画として2日目の午後に武田若菜先生(自由学園)のリードで賛美の時間(自由参加)を持つことができました。キリスト学校で中堅教員として日々労している仲間と共に時間を過ごせたことは互いに励ましを受ける良い機会となりました。勇気をもって参加した教職員の皆さんと送り出してくださった職場の皆さんに感謝し、主の祝福を祈ります。



講習の先生方が受講生に対して、熱意を持って語られるので、パソコンの画面を通しての事を忘れてしまうほど、引き込まれました。「何時間もパソコンに向かうのは嫌だな～」と思っていたましたが、いざ始めると次々に講義を受けるのが楽しかったです。(T・T)

2018年度に受講しました。忙しい皆さんにオススメです。いつでも、どこでも、何回でも、自分のライフスタイルに合わせて講習を受けられます。キリスト教主義学校で働く者としての大切な心構えを、講習を通して改めて考える良い機

「eラーニングによる
教員免許状更新講習」について

- ・いつでも、どこでもインターネットで受講が可能です。
- ・キリスト教学校教育を土台とした講座です。
- ・19年度申込受付4月16日～20年1月31日

詳細は教育同盟ホーム
ページ(トップページ「お
知らせ」)かQRコードよ
りご覧下さい。



キリスト教教育者

物語

74

スマイス



市村與一



L.C.M.スマイス (1883～1941)
市村與一 (1881～1953)

金城学院

〈金城学院大学文学部宗教主事〉
落合建仁

市村はスマイスを偲ぶ文書の中でこう書いています。「この忘れる事の出来ない恩人に対して、我々は何を以て報ひたか？」このエピソードを通して、私たちは各々の学校で、同じ学校で仕える者同士がいかに信頼関係を持って協働できるのか、その思いを新たにさせられる気がいたします。(参考文献『金城学院大学とキリスト教』真山光彌『金城を支えた人々』「みどり野」創立五十周年記念号、等)

「金城学院中興の祖」(真山光彌)と言われます。さて、この2人とは別に、ここではもう2人の人物とエピソードを紹介したいと思います。今から約百年前の校主L・C・M・スマイス宣教師と校長市村與一です。市村が他校から引き抜きの話があった時、スマイスは市村に言いました。「もし君が金城に留まるなら、私は専門学校設立に必要な基金を出しましょう。これは、私の全財産の半分以上です」と。この言葉を聞いた市村は、その生涯を主イエスと金城学院に献げることにしました。就任時38名の生徒数は彼が召天する1953年には4千人を超え(現在は幼中高大計約7400人)、「金城学院中興の祖」(真山光彌)と言われます。

金城学院の基礎を築いた人物を語る際に、欠くことのできない2人がいます。1人目は米国南長老派教会のアーニー・ランドルフ宣教師で、彼女によって1889年に本学院は設立されました。よって、今年は設立130周年ということになります。2人目は、今日毎朝行われる礼拝の伝統の基となったエラ・ヒューストン宣教師です。大学の中心に位置する礼拝堂に、彼女の名が今も冠されています。

加盟校(102法人)学生・生徒・児童・教職員数

統計

＜学生生徒児童数＞ 2019年5月1日時点 (単位:人)

種別・グレード		校数	設置数	女	男	合計	総合計		
							女	男	合計
大学	共学校	57	39	92,066	96,195	188,261	135,860	100,934	236,794
	女子大学		18	39,711	0	39,711			
	大学通信課程		2	408	213	621			
	大学院		42	3,266	3,913	7,179			
	専門職大学院		6	409	613	1,022			
短期大学 短期大学部	共学校	23	11	2,810	360	3,170	6,220	398	6,618
	女子校		8	2,469	0	2,469			
	短期大学部・共学校		2	610	38	648			
	短期大学部・女子校		2	331	0	331			
短期大学・短期大学部 合計			23	6,220	398	6,618			
大学・短期大学・短期大学部 合計			80	142,080	101,332	243,412			
専門・各種学校		8	8	554	698	1,252	554	698	1,252
高校	共学校	92	50	21,310	19,304	40,614	38,665	24,794	63,459
	女子校		34	16,959	0	16,959			
	男子校		5	0	5,053	5,053			
	定時制・通信制		3	396	437	833			
中学	共学校	71	33	6,492	5,988	12,480	18,813	8,926	27,739
	女子校		33	12,321	0	12,321			
	男子校		5	0	2,938	2,938			
高校・中学 合計			163	57,478	33,720	91,198			
小学校	共学校	35	32	3,633	2,955	6,588	4,537	3,672	8,209
	女子校		2	904	0	904			
	男子校		1	0	717	717			
小学校 合計			35	4,537	3,672	8,209			
総合計		286	286	204,649	139,422	344,071	204,649	139,422	344,071

＜教員・専任職員数＞ 2019年5月1日時点 (2019.7.23修正) (単位:人)

種別・グレード		教員数					専任職員数		
		女	男	小計		合計	女	男	合計
				専任	非常勤				
法人	専任						440	548	988
	非常勤								
大学	専任	2,560	5,362	7,922		23,534	2,722	2,163	4,885
	非常勤	6,485	9,127		15,612				
短期大学	専任	230	168	398		1,256			
	非常勤	531	327		858				
各種専門学校	専任	84	63	147		517	14	23	37
	非常勤	214	156		370				
中学高校	専任	2,125	3,107	5,232		8,616	504	430	934
	非常勤	2,005	1,379		3,384				
小学校	専任	273	259	532		766	64	32	96
	非常勤	174	60		234				
総合計		14,681	20,008	14,231	20,458	34,689	3,744	3,196	6,940

註) 法人本部と各グレードで兼任あり

2019年 各地区夏期行事報告

東北・北海道地区

キリスト教学校に つながる喜び

—多様性の尊重と共生をめざして—

地区教育研究会大学部会

2019年度の東北・北海道地区教育研究会大学部会、昨年同様、東北・北海道地区のキリスト教学校・松本宣郎代表理事（東北学院理事長・院長）の挨拶の後、当番校を代表し「のもとに、6大学より、26名の参加を得て、8月22日（木）に仙台ガーデンパレスを会場に開催された。大学部会は2日間に行う時もあるが、今年は1日で終わるプログラムを企画した。

午前中は恒例の2回の主題講演が行われた。第1回目の講演は、新免貢氏（宮城学院女子大学一般教育部教授・宗教セン

午前は恒例の2回の主題講演が行われた。第1回目の講演は、新免貢氏（宮城学院女子大学一般教育部教授・宗教セン



点から論じられた。特に一時、高校が学生数を減らして危機的な状況に置かれたが、建学の精神を明確に掲げて改革を続けて回復した例を印象的に語られた。また「上からの学校」と「下からの学校」という視点から、私学として「下から」であるが、キリストに聞き続ける点で「上から」である」と説明された。さらに様々な取り組みが続けられていることが報告され、1日のプログラムが充実したものであったことが、同実感に議論する場がもたらされた。最後に、酒井玲子地区理事（北星学園学園

本史郎氏（北陸学院理事長・学院長・大学学長）の「教会と共に歩む北陸学院 歴史と見通し」と題して、北陸学院の歴史を北陸の教会と伝道の視

関東地区

キリスト教学校の 教師として

第61回新任教師研修会

生徒を変えていく力

第14回様名ワークキャンプ

各自のミッションの 再認識

地区聖書科部会研究集会

新任教師研修会 今年度の新任教師研修会は、御殿場の東山荘を会場として、8月1日から3日に委員等を含めて74名の参加で行われた。今年度の新任教師研修会は、御殿場の東山荘を会場として、8月1日から3日に委員等を含めて74

名の参加で行われた。今年度の新任教師研修会は、御殿場の東山荘を会場として、8月1日から3日に委員等を含めて74

水口洋氏による講演「3つのテーマに分団協議をほさむ形で行われた。導入として、医者が患者に育てられるように教師は生徒に育てられるのだと語られた後、①教師の仕事の特性として双方向性があること、②関わりの中にある仕事を進めるためにということ、③成長と「私とあなた」なのかを問わないこと、④成長と関わるためには寄り添うことが必要で、情報の伝達において大切なものは「人から人へ」伝わるのだということが新任教師たちに語られ、また、分団協議が行われた。

2日目は、伊藤多香子氏（関東学院大学宗教部・高等学校宗教主任）の挨拶に始まり、3人の先輩教師からの発題があった。山下織愛氏（青山学院横浜英和中学校・高等



新任教師研究会

氏（女子聖学院中学校・高等学校教諭）の司会による全体協議で分団毎のまとめが語られ、続いて清水氏の指導の下、研修で得たものを互いに分かち合った。そして、大橋邦一氏（静岡英和女学院中学校・高等学校校長）による閉会礼拝、委員長

また、食事毎に加納由美子氏と小島の司会で学校紹介があり、寸劇あり、ショートコントあり、などなど各校独創的な紹介を行って、制限時間をオーバーしてしまう学校も多く、食事時間内に収まるか若干不安であった。

最後に、この研修で熱く語り合ったことが各校で児童・生徒に反映されていくことを強く願う。小島和夫（頤栄女子学院中学校・高等学校教頭）

はるなワークキャンプ 今年も8月7日（水）から10日（土）にかけて群馬県高崎市にある高齢者のホーム「新生会」にて高校生ボランティアワークキャンプが持たれた。これは社会福祉法人新生会による全面的な協力があればこそ実施できる非常に貴重な機会である。

14回目となる今年度は、東地区5校（自由学園、聖学院、新島学園、立教女学院、茨城キリスト教学園）から12名の高校生



新任教師研修会
水口洋講師

夕食後は、前玉川聖学院中等部・高等部部長の

（7面につづく）

グループ・セッション

委員長である同志社国際
中学校・高等学校の山本
真司先生より「夏期研修
会に参加された先生方が
元氣になって各自の現場
に帰れるように」という
温かい配慮あるお言葉を
頂き、2日間の実りある
（夏期行事報告8面中段
につづく）

※関西地区カウンセリン
グ夏期合宿研修会は台風
接近のため開催中止とな
りました。

事務局だより